**「心に残る文化財子ども塾」学習指導案**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 日　時：平成27年12月11日（金）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　9:35～11:35（2・3校時）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 場　所：出雲市立窪田小学校　理科室

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 対象者：出雲市立窪田小学校６年生10名

指導者：○６年担任　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○島根県埋蔵文化財調査ｾﾝﾀｰ職員１名

１．主題（主題名）

　　　昔の人が使っていたお金や鏡を作って、古代の人々の文化や技術を知ろう。

２．ねらい

　・和同開珎や鏡の歴史を学ぶことによって歴史学習への興味や関心を高める。

・和同開珎作りや金属鏡作りを体験することで、古代人の生活の様子や技術等について考えることができるようにする。歴史・文化財に対する興味・関心を高める。

３．展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 指導者の支援及び留意点 | 準備品 |
| 9:35 | 今日の学習の流れを確認する | ・講師及び埋文センターの仕事を紹介する。・活動の見通しがもてるよう、流れを知らせる。 | ・ﾄﾞｷﾄﾞｷ埋文 |
| 9:40～ | ・地域の遺跡を知る。・鏡の役割やお金の歴史、鋳造技術について話を聞く | ・身近なところにも遺跡があることを学び、歴史学習への意欲を持たせる。・古鏡やお金についての基礎知識をしることで鋳造体験への関心を高める。 | ・ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料 |
| 10:0010:10～ | 金属鏡を作ろう　・作り方の説明を聞く　・作り方を見る　・鏡を作る（体験） | ・作り方の流れを資料で説明・鋳造は一度実演し、これから行う作業への理解を助ける（①セット～流し込み　③取り出し～研磨）・②セット～流し込み　④取り出し～研磨・作業の際には安全面に十分注意する。 | ・配布資料・指導者用体験ｷｯﾄ・体験ｷｯﾄは机に準備 |
| 11:00 | トイレ休憩・遺物見学 | ・鏡や和同開珎が作られた時代の土器を見学・和同開珎キットの準備 | ・弥生土器・須恵器・寛永通宝 |
| 11:1011:15～ | 和同開珎を作る　・作り方の説明を聞く　・和同開珎作り（体験） | ・作り方の流れを資料で説明・セット～取り出しは指導者、鋳バリ取り～研磨は児童・磨きの時間を多くとる・作業の際は安全面に十分注意する。 | ・配布資料・体験ｷｯﾄは机に準備 |
| 11:30～ | 学習のまとめをする　・感想発表　・アンケートに答える　・記念撮影 |  |  |

４．準備物等

　　学校、児童・・・プロジェクター、スクリーン、ＰＣ、雑巾、筆記用具、軍手、水、バケツ、粘土板

　　埋文センター・・学習資料、鏡・和同開珎鋳型、コンロ、鍋、低融点金属、布、研磨剤、

サンドペーパー、金ヤスリ、新聞紙、ニッパー